

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 令和4年2月18日同時配布

令和4年2月18日
国土技術政策総合研究所

橋台背面アプローチ部等の設計に関する共同研究者を募集

国総研では橋台背面アプローチ部等に新技術を適用する場合における性能を確認するための性能検証項目、標準的な試験方法、橋台やカルバートへの作用を明確化するため、共同研究者を本日より令和4年3月18日（金）まで募集します。

1. 研究項目

下記の研究項目へ、共同研究者として参加することができます。

- (1) アプローチ部の性能検証項目及び標準的な試験方法の検討
- (2) アプローチ部の橋台等への作用の検討

※詳細については、別添資料を御参照ください。

2. 募集期間

令和4年2月18日（金）から令和4年3月18日（金）まで

3. 提案様式、提出方法

詳細につきましては、下記 URL をご参照ください。

国土技術政策総合研究所ホームページ <http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/kyoudou/index.html>

(共同研究の手続きに関する問い合わせ先)

国土交通省国土技術政策総合研究所

企画部 企画課 建設専門官 湯浅亮、研究官 大河内 恵子

TEL : 029-864-2674、FAX : 029-864-1527

E-mail : nil-kikaku-kyoudoukenkyu●gxb.mlit.go.jp

(共同研究の研究内容に関する問い合わせ先)

国土交通省国土技術政策総合研究所

道路構造物研究部 構造・基礎研究室 主任研究官 宮原 史、研究員 山田 薫

TEL : 029-864-7189、FAX : 029-864-2690、E-mail : nil-kouzoukiso●mlit.go.jp

メールアドレスは●を@に変換して送信してください。

共同研究の公募要領

共同研究の名称

橋台背面アプローチ部等の設計に関する共同研究

担当研究室

道路構造物研究部 構造・基礎研究室

実施期間

協定締結後（令和4年3月予定）～令和6年3月31日

共同研究の目的

道路の橋台背面アプローチ部やカルバート背面（以下、「アプローチ部」）には、荷重軽減や用地制約等の観点から通常の盛土以外の新技術（補強土壁、軽量盛土等）が用いられる場合がある。一方、新技術を用いる場合に前後区間の路面の連続性も含めた使用性、性能を確認するための性能検証項目、標準的な試験方法は確立されていない。また、アプローチ部から橋台やカルバートへの作用は明確にされていない。

本共同研究は、性能検証試験結果の分析、載荷試験結果や解析結果の分析を行うことにより、アプローチ部に新技術を適用する場合における性能を確認するための性能検証項目、標準的な試験方法、橋台やカルバートへの作用を明確化するものである。

共同研究の内容(項目)

- (1) アプローチ部の性能検証項目及び標準的な試験方法の検討
- (2) アプローチ部の橋台等への作用の検討

研究の分担

研究項目	研究分担						年次計画		
	国総研	共同研究者					R3	R4	R5
		指定機関			公募				
		土木 研究所	土木研究 センター	EPS 開発機構	公募による 参加者 (要件1)	公募による 参加者 (要件2)			
(1) アプローチ部の 性能検証項目及び標準 的な試験方法の検討									
①性能検証試験や解 析の実施・整理	○	○	◎	◎	○	◎	—		
②性能検証項目 の検討	◎	○	○	○	○	○		—	
③標準的な性能検証 方法の検討	○	◎	○	○	◎	○		—	
(2) アプローチ部の 橋台等への作用の検討									
①載荷試験や解析の 実施・整理	○	○	◎	◎	○	◎	—		
②橋台等への作用の 検討	◎	○	○	○	○	○		—	
③標準的な作用の 検証方法の検討	○	◎	○	○	◎	○		—	

※「指定」とは国総研が別途指定する機関である。

※研究分担の欄の記号は以下のとおりである。

◎：該当する項目及び細目を主として分担する場合

○：該当する項目及び細目を従で分担する場合

—：該当する項目及び細目を特に分担しない場合

※共同研究者は、各自の技術開発能力の高い分野の研究を分担しつつ、相互に連携して研究を進めるものとする。

参加条件

共同研究者（公募）は、以下の公募要件に応じて条件を満たすものとする。

【要件 1】 橋台、カルバート、盛土、補強土壁等の耐震性等に関する知見を有するとともに中立的立場から検討することができる機関

以下の①～③の全てを満たすものとする。

- ① 共同研究の実施ができる体制が確認できること。
- ② 本共同研究に必要な費用を分担できること。
- ③ 以下の研究の実績（Ⅰ．～Ⅲ．について全て）を有すること。
 - Ⅰ．橋台またはカルバートのアプローチ部に用いられる新技術（補強土壁等）の耐震性に関する研究実績
 - Ⅱ．橋台またはカルバートのアプローチ部に用いられる新技術（補強土壁等）の維持管理に関する研究実績
 - Ⅲ．橋台またはカルバートのアプローチ部に用いられる新技術（補強土壁等）の性能規定化に関する研究実績

【要件 2】 開発者等アプローチ部に用いられる新技術に精通している機関

以下の①～③の全てを満たすものとする。

- ① 共同研究の実施ができる体制が確認できること。
- ② 共同研究に必要な費用を分担できること。
- ③ 以下の実績（Ⅰ．～Ⅲ．について全て）を有すること。
 - Ⅰ．アプローチ部に用いられる新技術の地震時挙動に関する載荷試験の実績
 - Ⅱ．アプローチ部に用いられる新技術の地震時挙動に関する解析の実績
 - Ⅲ．アプローチ部に用いられる新技術の設計・施工マニュアル等作成の実績

参加者の決定にあたっては、共同研究応募申請書に基づき審査し、上記の「参加条件」に照らして道路構造物研究部で総合的に評価し、判断する。なお、必要に応じてヒアリングを実施する。

共同研究応募申請書

共同研究応募申請書は以下の書類を添付したうえで、提出するものとする。

参加条件の②及び③を示す書類

- (1) 定款、会社等経歴書
- (2) 貸借対照表、損益計算書または財務書類
- (3) 共同研究費積算内訳書
- (4) 研究責任者及び参加する研究員の経歴書

参加条件の①を示す書類

- (5) 当該共同研究に関連する論文
- (6) 設備の概要書（※必要に応じて）
- (7) その他の参加条件の証明書類（※必要に応じて）

注意事項

本共同研究において、各者で実施する研究に係る費用については、各者で負担していただきます。（国総研から共同研究者に対し、費用を支払うことはできません。）

また、共同研究者は、本共同研究のうち、国総研の研究分担に係わる請負業務への競争参加資格はなくなりますので、ご注意下さい。

問い合わせ先

(共同研究の手続きに関する問い合わせ先)

企画部 企画課 建設専門官 湯浅 亮、研究官 大河内 恵子

TEL : 029-864-2674 / FAX : 029-864-1527

E-mail : nil-kikaku-kyoudoukenkyu●gxb.mlit.go.jp

(共同研究の研究内容に関する問い合わせ先)

国土交通省国土技術政策総合研究所

道路構造物研究部 構造・基礎研究室 主任研究官 宮原 史、研究員 山田 薫

TEL : 029-864-7189、FAX : 021-864-2690

E-mail : miyahara-f852a●mlit.go.jp、yamada-k8823●mlit.go.jp

メールアドレスは●を@に変換して送信してください。